

➤ 比和牛供養田植が開催されました ～8年ぶりの開催！～

令和6年5月26日、庄原市比和町にて、比和牛供養田植（主催：比和牛供養田植実行委員会）が行われました。この行事は、家族同然に大切にされてきた牛を供養し五穀豊穡を祈念するもので、広島県の無形民俗文化財にも指定されています。

本来は4年に1度の開催ですが、令和2年の新型コロナウイルス感染症の影響による中止を経て、じつに8年ぶりの開催となりました。

気持ちよく晴れた青空の下、色鮮やかな飾り鞍や幟を背負った供養牛10頭が祈禱を受けて代かきを行った後、拍子に合わせて早乙女の田植えが行われました。当日は、地域の農家の方々のほか、比和中学校の生徒も多数参加し、練習の成果が披露されました。

庄原和牛改良組合比和支部の垣内支部長は、「改良組合の組合員18人が参加し、総動員でこの歴史と伝統を守りたい。牛の歩様の揃った代かきは見応えがあるので、楽しんで欲しい。」と話されました。他の出



品者の方は「無事にこの日を迎えられるてよかった。8年ぶりなので、前回までのことを思い出しながらの準備に苦労した。」と笑顔でコメントされました。また、初めて供養田植を見たという広島市内の男性は、飾りつけをされている牛のおとなしさに驚いた様子でした。

地域で700年以上も続くこの伝統文化が、日本が誇る和牛の発祥の地としてあがめられる比和で、今後も後世に受け継がれるとともに、ここから生まれ育った比婆牛が、世界中の人からおいしい！と言われるブランドになることを願っています。

なお同日には、三次市三和町及び安芸高田市内各地でも、花田植が行われました。



左：早乙女による田植え。後ろの男性陣は、ダイナミックなパチさばきで太鼓を鳴らします。

右：追手の乗原美香さん（右）。実行委員会によると、700年以上の歴史の中で女性の追手は初ではないかとのこと



左：待機場から移動する供養牛。鮮やかな飾りが田植え直後の水面に映えます。

右：堂々と国道を歩く様子。時折通過する車にも動じません。よく調教されていることがわかります。

➤ 令和6年度 育種現地検討会が開催されました

令和6年4月30日、全農広島県本部三次家畜市場（三次市西酒屋町）において、公益社団法人全国和牛登録協会の向井会長、穴田専務理事、山口部長をお招きし、育種現地検討会（主催：広島県和牛育種組合）が開催されました。

冒頭に向井会長から「消費者の好みも変化している。サシ重視から、たんぱく質（アミノ酸）含量の向上・生産性の向上へ方向転換していく必要がある。」とお話をいただきました。

また、広島血統再構築種雄牛の産子（名牛「第3神竜の4」を基に造成した「烏帽子」「立烏帽子」「仁義烏」の3代にわたる雌産子など）11頭について調査を実施し、それぞれの特徴や発育状況を確認しました。

穴田専務理事からは、「今回の調査牛は、全体のバランス、輪郭の鮮明さ、肋の張り、肩の付着の良さを広島らしさとして評価する。今後、地域のストーリー性や脂肪の質等、特色ある牛づくりに期待している」とコメントを頂戴しました。



上：パドックに並び、調査を受ける牛たち

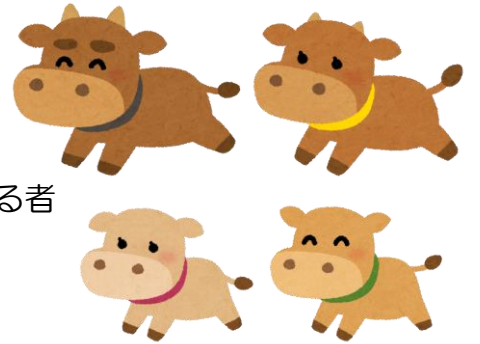


下：「広島県における育種事業の進め方～新しい価値の創造～」と題した、穴田専務理事の記念講演

▶ 家畜人工授精に関する講習会が開催されます

地域における家畜人工授精業務の円滑な推進を図ることを目的とし、家畜人工授精師養成のための講習会が開催されます。

開催日時	令和6年7月8日（月）～8月7日（水） ※8月8日（木）に修業試験が行われます。
開催場所	県立農業技術大学校、県立総合技術研究所畜産技術センター（ともに庄原市）
受講対象者	県内の畜産関係研修施設で研修を受けている者 広島県立大学の在学中で、学長の推薦する者 農業技術大学校の在学中で、学校長の推薦する者 県内の畜産関係機関及び団体等の勤務者で、家畜改良増殖に関する業務を行っている者 県内において家畜人工授精業務を行う予定の者
定員	20名程度（定員に達し次第、受付を終了します。）
主催	広島県



申込みについての詳細は、広島県畜産課 HP をご参照いただくか、最寄りの畜産事務所へお問い合わせください。

★ 広島県からのお知らせ① ★ ～令和6年4月1日から体外受精卵製造等の手数料が変わりました～

資材価格高騰等により、現行価格での提供が困難となったため、次のとおり手数料の改定を行いました。

手数料名	現行	改定後	手数料名	現行	改定後
受精卵凍結処理	20,000円	22,000円	体外受精卵製造	56,000円	60,000円

- ・手数料は税込表記。
- ・令和6年4月1日付けで改定。

上記手数料の変更について、皆様の御理解・御協力の程、何卒宜しくお願い致します。

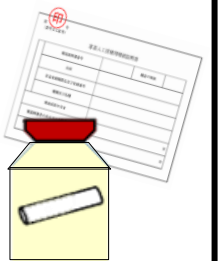
★ 広島県からのお知らせ② ★ ～家畜改良増殖法に基づく立入検査について～

令和2年10月の法改正を受け、農林水産省（中国四国農政局）による家畜人工授精所への立入検査が義務化されました。広島県内では、令和4年12月中旬から本格的な立入検査を実施しています。

家畜人工授精所の協力の下、令和6年3月時点で全体の43%にあたる34件の立入検査が完了しました。

なお、これまでの立入検査にて、口頭注意等が多かった事項は次のとおりです。

- ① 使用済み精液（受精卵）証明書裏面の記入：不受胎時の情報（注入や移植日、注入や移植雌牛）が記入されていない等
 - ② 譲渡等記録簿等の記入：精液採取年月日や精液証明書番号が記入されていない等
 - ③ 授精証明書の記入：授精証明書の写しの保管がない、授精証明書番号がない（任意の通し番号を付す必要あり）等
- 引き続き、家畜改良増殖法遵守に御理解いただきますよう、よろしくお願いたします。



★ 広島県からのお知らせ③ ★ ～後代検定がスタートしています～

第79号でお伝えした後代検定種雄牛について、5月1日から「花峰勝」の交配が開始されました。

（「花金百合」の交配は4月1日から開始されています。）

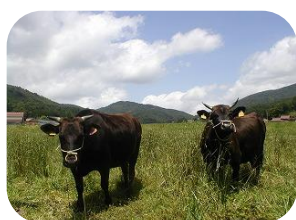
選抜後の交配の参考とするため、協力農場の皆様におかれましては、若い雌牛との交配をお願いします。



《家畜を飼養・管理している皆様へ》 家畜伝染病予防法に基づく定期報告書（提出期限4月15日）を提出いただきありがとうございます。

☆詳しくは、広島県ホームページで「飼養衛生管理基準」で検索、または、最寄りの畜産事務所にお問い合わせください。

Instagram, フェイスブックで広島和牛の話題を世界中に発信中！フォロー・いいね！お願いします！！(^_^)!



右のQRコードからご覧いただけます。iPhoneの場合、標準カメラアプリをかざすだけで読取り可能です！



Instagram



フェイスブック

広島和牛 NEWS は Web で閲覧できます！！⇒「広島和牛 NEWS」で検索！

右のQRコードから広島和牛 NEWS パックナブ-をご覧いただけます。iPhoneの場合、標準カメラアプリをかざすだけで読取り可能です。



今回は、
令和6年7月10日発行予定！